

# 今日といふ日は二度と来ない、 二度と来ない日が今日来る (星野富弘さんの詩画集から)



## 念頭に思う

会長 赤川イシ子

熊被害に暮れた二〇二五年でした  
どんな年になるでしょうか今年  
は、ともあれ健康で元気にお過ごしした  
いものです。誰もが望むことですが、  
一日一笑をモットーに明るい日々が  
過ごせれば幸せというものでしょう。

老骨にムチ打って、力を合わせて、  
実のある記念公演になりますように。

## 昨年の感謝

理事長 間島 正明

昨年の保存会は、今迄にない程の  
出演があり、忙しい一年であります  
た。その中でも特に高校生コンビ三  
味線の依頼がありました。それも柏  
崎日報社の昨年元旦号にて二人の記  
事があり、各位よりの反響があつた  
ものと思います。また、ぎおん柏崎  
まつりでは、笛の一般募集が増加、  
唄の募集があり、少しづつ反響が出  
てきたのかと思います。

今年の十一月八日、アルフォーレ

第28号発行  
2026・1・25

## 発行責任者

間島 正明



十一月二日、西福寺での永代経法  
要での出演。寺では毎年いろんな催  
しをするらしい。

大ホールにて七五周年記念公演を予  
定しております。各位にお世話にな  
りますが、よろしくお願ひします。

## 納涼会に参加して

大橋 義則

八月九日（土）、アルフォーレに  
て午後七時より鏡町町内会の納涼会  
が行われました。  
アトラクションとして出演致しま  
した。準備中は、人は少なく心配も  
ありましたが時間になるにつれ、次々  
と人が集まり満席になり、あまりにも  
大勢の方々に圧倒されました。

会長の挨拶では、今まで野外で  
納涼会を行つてきましたが、暑さ続  
きで熱中症等が心配される為、室内  
での納涼会を計画したとの事でした。

## 2025・ゆうみDE盆踊り

田口 敏男

民謡では柏崎、佐渡、出雲崎おけ  
さ、津軽甚句、黒石よしやれ、じよ  
んがら節等、披露致しました。短い時間  
の演奏でしたが大勢の方々の拍手を頂  
き、楽しい一時とな  
りました。ありがとうございました。ありがと  
うございました。



夏も終わりに近づく八月二三日夕  
海で開催されたイベントに三味線で  
参加させて頂きました。海に沈みゆ  
く夕日を浴び、オレンジ色に染まつ  
た姿で踊る参加者たちが、芝生に映  
える影絵のようで、なんとも美しく、  
印象的でした。今年の夏も是非、夕

## 阿弥陀様に合掌

坂井 文繪

さて時分時となり御信徒手作りの  
お斎を頂く。精進料理は阿弥陀様の  
ように口に腹にやさしく残らず頂き  
ました。

## 合掌

さて時分時となり御信徒手作りの  
お斎を頂く。精進料理は阿弥陀様の  
ように口に腹にやさしく残らず頂き  
ました。

「ハコニワ」の出演では、これまで練習を重ねてきた成果を十分に發揮し、落ち着いて演奏することができます。また、盆踊りでは、ご来場された多くの方が私たちの演奏

### 「ハコニワ」に出演して

飯田 奏音



また、昨年のぎおん柏崎まつり民謡街頭流しでは、家族それぞれの立場で参加できたことを嬉しく思っています。

### 柏崎文化祭に参加して

藤井 洋平

二〇二五年四月二七日、「二〇二五市民のための柏崎文化祭」にて、アルフォーレで開催された公演に柏崎民謡保存会の一員として出演し、「相川おけさ」「米山甚句」を演奏しました。民謡の奥深さと仲間の支えを改めて感じる貴重な舞台となりました。



に合わせて踊つてくださり、喜んでいただけことを大変嬉しく思いました。今後もご指導よろしくお願ひいたします。

### 「ハコニワ」に出演して

永井 寛生

私は七月に「ハコニワ」で三味線を演奏しました。「柏崎おけさ」などの柏崎の民謡や、津軽甚句などの色々な曲を演奏しました。子どもや若い人など沢山の人がありました。この演奏会がきっかけで民謡というジャンルを知つてもらえた大変嬉しいです。

### 新年に当たり

後援会相談役 堀沢 誠

令和八年は、柏崎民謡保存会七五周年記念公演も計画されているようです。長い間、会が存続することは会員が仲良く絶えることなく、入会者がある事だと思います。

次に練習が必要、さらに成果を発表させて頂く事が出来る幸せがあります。

民謡がよくわからない方々が入会していくので、その方に上手く指導していくことが大切です。若の方々が民謡に興味をもって来るよう

満員のお客様。温かな拍手。優しい空気。私には、踊り切った安堵感より、自分の下手さを再確認する、ほろ苦い舞台となりました。

大先輩と一緒に踊る、とてつもないプレッシャー。下手は下手で仕方ない。基本通り・丁寧に踊る、と心に決め、臨んだあの舞台。踊りの神様は、そんなに甘くはなかつた……

あの時の、あの舞台から見た光景は、ほろ苦い思い出とともに、忘れることはないとと思う。貴重な経験をさせて頂き、本当にありがとうございました。

### 江口かつこ 穂波会の出演に参加して

中村まい 民謡保存会に入会して

中村 まい

民謡保存会に入会して、長く受け継いでこられた芸能の守り手の皆さんとご一緒できて光榮です。芸能が身体に染み込むまで、長い長い時間をかけてこられたのだと、分かりました。自分もその一員だと言えるようになるまで時間がかかりそうです。が、素敵なお先輩たちを見習いながら励みたいと思います。



### 編集後記

保存会会報「和と輪」の第一回の発行は平成十一年二月、京都太秦（うずまさ）東映撮影所の水戸黄門に保存会が出演した事が記載されてあります。今回で二十八八年が経ち、二十八回目の発行となりました。まさしく、「継続は力なり」ですね。十一月には創立七十五周年記念公演が開催されます。

これからも「和と輪」の発行へのご協力をお願いします。（広報担当 K.H.）

指導するのも会員みんなの協力で、柏崎にある地元民謡の唄に踊りに取組んで頂きたいと願っております。